

●発行月 令和2年1月
 ●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
 ●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携バスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHSによるDr.Direct Call
5. 24時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進

緩和ケアチームのご紹介とアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の取り組み

緩和ケア科長 鈴木 温

平素より患者さんのご紹介をさせていただいております。連携機関の皆様には大変お世話になっております。当院での緩和ケアチームとアドバンス・ケア・プランニング(以下、ACP)の取り組みについてご紹介いたします。

緩和ケアチームは、身体症状・精神症状の担当医師、専従看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどの多職種で構成され、主治医や看護師からのコンサルテーション型の活動を行っています。当院では緩和ケア科が昨年度から開設となり、精神科医が今年度から常勤となりました。

今年度より、それぞれの専門性を発揮し充実したチーム活動を行うために努力しています。その活動内容は、

入院患者さんや家族からの介入の要望と主治医や看護師からの依頼のもと、週1回以上のチームラウンドを行っています。ラウンド前に、依頼内容に基づき支援する内容をカンファレンスで話し合います。ラウンドでは、患者さんや家族とお会いして診察し、症状や問題点を検討します。疼痛はペインクリニック科医師、せん妄などは精神科医師が中心となり、ラウンド後に主治医や看護師と密接に連携し治療しています。チームラウンド介入を希望されない患者さんには、専従看護師や症状担当医師のみが対応しています。療養先の希望は、緩和ケア病棟、自宅近くの病院、自宅など、患者さんの価値観や病状により変化します。症状緩和を進めながら主治医と地域連携コーディネーターと情報共有し、患者さんの希望にそって緩和ケア病棟などの連携機関にご紹介させていただいております。

ACPは、「人生会議」の名称として最近マスコミなどで注目されています。その定義は「患者・家族・医療従事者の話し合いを通じて、患者の価値観を明らかにし、これからの治療・ケアの目標や選好を明確にするプロセス」と、わかりにくい印象があります。かみくだいて考えてみると、ACPは患者さんを中心に、将来に備えて(自分でトイレに行けなくなった時など)患者さんと家族が、医療関係者とこれからの医療について繰り返し話し合うことです。その内容は、これから大切にしたいこと(日課としてきた畑仕事を続けたいなど)、希望する治療や療養先(できるだけ自宅で過ごしたいなど)が含まれます。当院では、ACPを診療や看護ケアに取り入れながら、カンファレンスや研修会を開催し多職種で勉強し取り組んでおります。

今後とも連携機関の皆様よろしくお願いたします。



登録医ご紹介コーナー

今回は緩和ケア病棟をお持ちの3つの病院をご紹介します。

孝仁病院



当緩和病棟は、平成18年12月の開院と同時に開設され丸13年が経過しました。病院全体の病床が180床で緩和病棟は10床あります。緩和病棟の入院患者さんは、その殆どが連携する医療機関からの紹介で、平成30年度にはこの病棟で106人のお看取りをさせて頂きました。

緩和病棟には年間を通じて、夏祭り・クリスマス会・ボランティアさんの演奏会などいくつかの行事がありますが、他に年2回、希望のあるご遺族にお集まり頂き「陽だまりの会」を開催しています。グリーンケアを主旨とする会ですが、ご家族の闘病期間中から現在に至るまでのご遺族の気持ちの変化や現在の暮らしぶりなどを傾聴することはスタッフにとって得難い学びの機会になっています。

また、病院全体の行事として「孝仁祭」を年に1回行っています。近隣住民の方々に病院を開放し健康相談・出店での料理の提供・子供向けのゲーム等をして親しんで頂ける場としています。

利用者の方の要望により広く応えられるよう今年度から始めた新たな病院の取り組みとして地域包括ケア病床・訪問看護ステーションの開設があります。

「キュアからケアへ」など医療や介護のあり方が見直されている中、関連施設との連携を深め、地域の皆様と共に考え、安心して暮らし易い地域創りに貢献できる施設でありたいと思っています。

今後とも宜しくお願いします。

緩和ケア病棟医長 米山 幸宏

盛岡赤十字病院



当病棟は2006年7月に地域の緩和ケアに対する社会的ニーズに応えるかたちで開設され、2019年に10年目を迎えました。

盛岡赤十字病院敷地内、北上川のほとりで四季折々の変化を楽しめる日本庭園（逍遙遊庭）に接する平屋建ての施設で、病床数は全室個室の22床となっております。開設から2019年3月までに1515人の患者様が当病棟を利用されました。開設当初数年は利用者数年間130人前後で推移しておりましたが、2014年以降増加傾向にあり、現在は年間180人前後となっております。

2019年11月現在、医師3名、看護師20名、看護助手2名のスタッフに加え、薬剤部、社会事業部、栄養科とも連携し、患者様およびご家族のご希望に添った療養環境を送れるようお手伝いさせていただいております。

当病棟は「もう一つの我が家」としての機能を有すると共に、病院とご自宅の橋渡しをする「休憩所」の様な役割も有していると考えております。病状の安定によりご自宅や施設への退院をされる方も増加傾向にあります。そのような状況を踏まえ、現在は外来を窓口とした退院後の支援体制にも取り組んでいます。今後は今まで以上に近隣の医療機関、各施設、看護ステーション等とのスムーズな連携が不可欠とされますので、ご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。

緩和ケア病棟

盛岡友愛病院



岩手県立中央病院の諸先生方、およびスタッフの皆様には、平素より大変お世話になっております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当院の緩和ケア病棟は2015年6月、西病棟5階に有料個室9床、無料個室1床、4床室2部屋の計18床で開設し、あっという間に5年近い歳月が経ちました。緩和ケア認定看護師2名が中心となり病棟全体として少しずつ経験と勉強を重ね、常に患者さんとご家族の気持ちに寄り添い、安心した療養が提供できるよう努力しております。

2019年7月にはがん看護専門看護師を迎え、転院・外来通院中から入院まで通して関わり、質の高い看護を提供できるよう、スタッフ間で話し合いをしながらケアを進めております。

また当院では、ゆうあいの街の「訪問看護ステーションゆうあい」と連携を取り、退院した患者さんやご家族に不安が無いよう、24時間体制で患者さんをサポートしております。

病棟ラウンジのベランダからは、岩手山から東根山に至る雄大な山々を眺望することができ、四季折々の景色を楽しむことができます。また、毎月音楽会や季節にちなんだ行事を企画し、スタッフとともに患者さん・ご家族に楽しんで頂けるよう取り組んでおります。

病棟は小さいですが、その分人のぬくもりに囲まれ、患者さんに寄り添いやすく、寂しさを感じさせないアットホームな空間になっています。患者さんがより豊かな時間を過ごせるよう支え、常に優しい寄り添いと明るい笑顔で、泣いて笑って、これからも歩んでいきたいと思っております。

今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

緩和ケア病棟

臨床工学技士は他の職種と比べ歴史の浅い職種ですが、医療機器のスペシャリストとしてのニーズは年々向上しており、臨床工学技士を目指す学生も増加しています。

当院の臨床工学技士は15名在籍しており、昨年度より院内常駐化を開始し、2交代勤務体制で治療や手術、医療機器のトラブル等に対応しています。

医療の進歩に伴い医療機器の性能も向上し、医療機器に対する専門性が高くなっています。医療機器のスペシャリストとして院内の医療機器約2500台を管理し使用後の点検や定期点検を計画的に実施、各機器の操作方法を熟知し安全且つ適切に使用してもらえるよう他職種に対して教育を行っております。

また、機器管理だけでなく臨床業務にも携わっており、心臓血管外科手術の際に使用する人工心肺装置の操作や心原性ショック、心肺停止した患者さんへ使用する補助循環装置の操作、管理も行っています。他にも腎機能が低下した患者さんに対して人工透析を実施しております。昨年度には岩手県初の植込み型補助人工心臓の植込み認定施設となり、人工心臓管理技術認定士を取得した3名が人工心臓の植込みや管理業務の確立に尽力しています。

臨床工学技士は業務の性質上、患者さんと直接関わる機会は少ないですが、医療機器の管理及び教育を適切に実施することで、間接的に患者さんへ安全な医療を提供しています。

将来的には、臨床工学技士が在宅医療（主に酸素療法、人工呼吸器、在宅透析、補助人工心臓等）の機器管理にも携わることで、直接患者さんに関わる機会も増加していくと思われま

す。今後、成熟した組織の構築を目標に医療機器のスペシャリストとしてチーム医療の一端を担っていくことが重要と考えます。



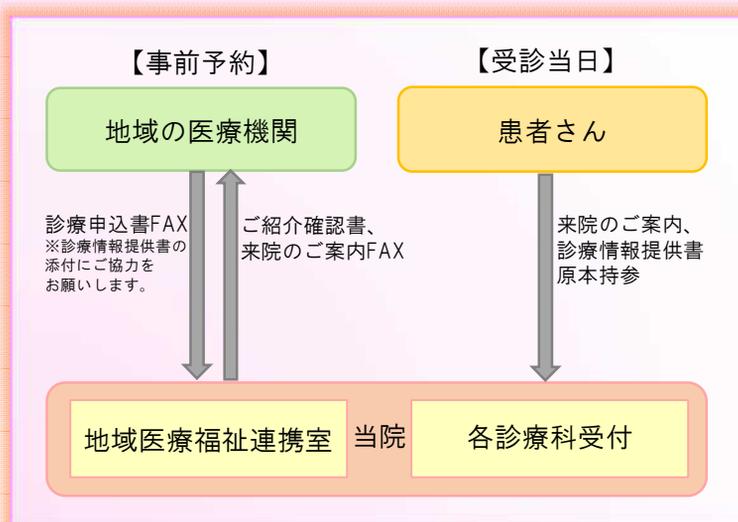
！紹介患者さんの事前予約にご協力ください！

地域医療福祉連携室

当院では紹介患者さんの診療予約を右の手順で承っております。

当院は、**患者数の増加に伴う診療待ち時間が増加**しており、診療日時のご予約がない場合、診療録の準備や診療情報提供書の内容確認などのため、診察まで患者さんをお待たせすることがございます。

事前にご予約いただきますと診察までの待ち時間が短縮されますので、可能な限り事前予約にご協力いただきますようお願い申し上げます。



- ・各診療科との調整等により診療予定日のご連絡にお時間をいただく場合がございます。
- ・消化器内科、がん化学療法科、放射線科のご予約は担当医との調整のため予約日のお返事が翌日以降となります。診療申込書に診療情報提供書を添付しFAXでお申し込みください。
- ・**緊急時は該当診療科へ電話でご連絡をくださいますようお願いいたします。**

お問い合わせ先：地域医療福祉連携室

TEL：019-622-9996（直通）

FAX：019-654-5052（直通）